



2012年8月22日 第2012-48号

【発行】J A M

【発行責任者】宮本 礼一

【編集】産業政策グループ

03-5860-6150

E-MAIL : seisaku.seiji@jam-union.jp

## 24年度戦略的基盤技術高度化支援事業に

### JAMから2件決定！！

平成24年度の戦略的基盤技術高度化支援事業申し込みに対しての採択が決定しました。今年度は、平成24年4月16日(月)～6月19日(火)までの期間、に合計639件の申請がありました。審査を行った結果、7月27日、合計134件の特定研究開発等計画が採択されそのうち2件がJAMの組織がある企業でした。(中小企業庁発表)

戦略的基盤技術高度化支援事業は、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく支援策の一環として、同法により「特定研究開発等計画」の認定を受けた中小企業者が国からの委託を受け、ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発から試作までの取組を促進することを目的として行うものです。根拠法は、ものづくり基盤技術振興基本法で労働組合としてJAMが起案し成立した法律です。

決定した2件は下記の2社です。

#### 【特定研究開発等計画】

企業名：日進精機株式会社 長野県 (本社東京)

事業管理機関：長野県テクノ財団

計画名：温間順送複合プレスによる難加工材の高効率生産技術開発

研究概要：従来の順送プレスに温間・熱間工程を組入れ、温・熱間加工を複合させ各々の特徴である冷間の高精度、温熱間の高成形性、順送プレスの高速度加工を併せ持つプレス技術を開発して、従来加工が困難であった、難加工材の高効率生産技術を開発する。さらに、温間・熱間工程で使用する加熱方式を冷間順送プレスへ水平展開してプレス機内もしくは機外で連結し、焼入れ・焼戻し等の可能性を探る。

企業名：株式会社明治製作所 鳥取県

事業管理機関：鳥取産業振興機構

計画名：環境対応車用中空シャフトの熱間中空鍛造と回転加工による複合成形技術の開発

研究概要：エコロジーの高まりとともに環境対応車の市場が拡大している。しかし、製造の海外シフト、材料高騰などの環境の中、素形材としては材料歩留の良い製造方法が要求されている。従来の鍛造製造方法では材料歩留が悪く高コストの問題がある。そこで、新たに熱間中空鍛造と回転加工の複合成形技術を開発し、環境対応車向けの大幅なコスト削減と軽量化の達成により、環境に配慮した車づくりに貢献する。

- 採択された研究開発は、今後2年または、3年の研究開発を行う事になります。開発費用は、4500万円以下で、2年目以降は、契約額の2/3以内、1/2以内の開発費が支給されます。